



特集

わたしたちにできる防災対策

去る3月11日に発生した東日本大震災。地震や津波により未曾有の大災害となりました。あれから2カ月が経過した今でも、被災地ではさまざまな支援が必要とされています。津山市からも支援のため、消防の救急支援隊、水道局職員、保健師などが現地に赴いています。被災地で活動した人の体験談から、私たちにできる防災対策について考えてみましょう。



岩手県大船渡市の被災状況（5月4日）

津山市東日本大震災復旧支援本部でまとめた支援の状況をお知らせします。支援物資、義援金などについては、市民の皆さまに多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。

■物的支援

○市備蓄物資からの提供分

提供物資：毛布1,000枚、アルファ米1,400食、水（500mlペットボトル入）1,104本、スティックパン200食

○市民からの提供分

受付期間：3月16日～4月1日 件数・点数：871件、27,003点

受付物資：ブルーシート、毛布、懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池など

■金銭的支援

○義援金（3月14日から受け付けています） 受付件数・金額：2,543件、64,130,966円（5月24日現在）

○見舞金（市予算から） 金額：2,000万円

■人的支援

水道局：3月12日～29日 延べ6人

保健師：4月3日～9日、5月1日～7日、5月25日～31日、5月29日～6月4日 それぞれ1人